

ふりがな 氏名	なかお ゆり	都道府県	大阪府	
	中尾 有里			
所属/肩書	NPO 法人箕面こどもの森学園／専任スタッフ			
私の ESD活動	市民を育む初等教育と大人の学びの場づくり			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

箕面こどもの森学園は「市民が創り、市民を育む」小学校であり、子どもが時間割を組み、計画を立て、実践し振り返ることで「自ら学ぶ」感覚を育む。特にテーマ学習とコミュニケーション学習について言及したい。

テーマ学習では「環境」「人権」「平和」「市民性」のカテゴリから細分化したテーマを掲げ、2ヶ月程かけ全校生徒で探究型の学びを進める。生活とかけ離れた机上の学びではなく、本物に触れ体感し、自分がどう生きていくかを考える糧となる生活即教育を前提としている。

「環境教育」としては、地域のNPOの協力で菜の花を育て、菜種油を採取しながら循環型社会の意義について学ぶ「菜の花プロジェクト」や、再生可能エネルギーについての体験学習を行う「くらしとエネルギー」などに取り組む。「人権教育」では、「しょうがいって何？」というテーマで障害をもつ方々のお話を聞き、感じたことから障害とは何か議論を重ねる学習を行った。「平和教育」では、集大成として自分達で憲法を考え作り上げた「平和と憲法」、多様な国籍のゲストを招いて学んだ「世界の国を知ろう」などがある。

コミュニケーション学習では、「ことば共同」での対話学習や「全校集会」での会議運営・ルール決めに取り組む。これらの学習を重ねると、テーマ学習でも自律的に社会を考え、他者を認めながら取り組むことができるようになっていく。特に全校集会では多数決なしの話し合いで学校ルールを決めるので自分達の手で課題を解決することが染み付いていく。違う意見を受け止めながら自己を受け入れ、他者と折り合いを付けて改善する実践を重ねる。

また、大人の学びも両輪で進めている。2012年10月より月に一度教育カフェ・マラソンというイベントで社会を熟議する場を設け、毎回中学生から大人が30名ほど参加している。ゲストを招き、毎回違ったテーマから対話する土壌と情報交換のコミュニティを創出している。

- ・箕面こどもの森学園：<http://homepage3.nifty.com/kodomono-mori/>
- ・箕面こどもの森学園でのデキゴト：<http://kodomonomori7676.blog22.fc2.com/>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

ESD 実践者に必要なことは継続的な情報収集、自らが社会を担う一員として責任を引き受け続けること、学び、発信して人々を巻き込むこと、次の世代の動向を知ることである。

私たち若者は、フットワークやWEBを生かして実践者同士でつながるための行動を起こし続ける必要がある。実践者同士の継続的な情報交換のため、データベースやSNS上のコミュニティなどを作り、世界中の実績をいつでも閲覧し、相談しあえるようなWEB交流を呼びかけ運営することを担うことができる。また、様々な社会課題について敏感に情報収集し自ら学び続けるためにも、様々な世代の実践者に会い、ファシリテーターとしてその実践者から学ぶ場をオープンに提供することを担いたい。そして、大切なことは次の世代について常に知ろうとし、未来を担う人々のサポートをすることである。彼らが社会課題に取り組むには、自らが社会課題について行動し続け、ロールモデルとなることが求められる。